

ヴァイオリン協奏曲の魅力を探る **第1回**

プログラム

今回は、古今東西のヴァイオリン協奏曲を取り上げその魅力を探って行きます。良く知られた名曲から隠れた名曲まで、ヴァイオリン協奏曲の魅力に迫ります。今日はその第1回です。特製ステレオでお楽しみ下さい。

バッハ：2つのヴァイオリンのための協奏曲ニ短調

ヘンリク・シェリング (ヴァイオリン) / ヨセフ・スーク (ヴァイオリン)
ヨセフ・ヴラフ指揮チェコ室内管弦楽団 (1972年Live)

メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲ホ短調～第1楽章

エディット・パイネマン (ヴァイオリン)
フリッツ・リーガー指揮ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団 (1972年来日公演Live)

ブラームス：ヴァイオリン協奏曲ニ長調～第1楽章

ダヴィッド・オイストラフ (ヴァイオリン)
クラウディオ・アバード指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 (1972年ウィーンLive)

ひと休みの音楽

ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ

ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 (1986年Live)

サン・サーンス：ヴァイオリン協奏曲第3番ロ短調～第1楽章

シルヴィア・マルコヴィッチ (ヴァイオリン)
マルチェロ・ヴィオッティ指揮ザールブリュッケン放送交響楽団 (1993年Live)

シベリウス：ヴァイオリン協奏曲ニ短調～第1楽章

イダ・ヘンデル (ヴァイオリン)
サイモン・ラトル指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 (1991年Live)

ひと休みの音楽

アルカン：鉄道エチュード作品27

ローレン・マルタン (ピアノ)

ゴールドマルク：ヴァイオリン協奏曲イ短調～第1楽章、第3楽章から

ナタン・ミルシテイン (ヴァイオリン)
ジュリアス・ルデル指揮ウィーン交響楽団 (1975年ウィーンLive)